

第53回新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部会議  
(新型インフルエンザ等対策本部会議) 議事録

日時：令和3年9月17日(金) 16:00~16:19

場所：第三応接室

○坂本危機管理局次長

ただいまから、第53回新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部会議を開催いたします。本日の手話通訳者は、障害福祉課 山上美紀さんです。

はじめに、危機対策本部の対応状況につきまして、統括調整部長より説明いたします。

○橋本統括調整部長

それでは資料1、危機対策本部の対応状況を御覧ください。本日の本部会議の開催趣旨ですが、これから秋の連休やお彼岸の時期を迎えるということ踏まえて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止に向けた対応を確認するというものでございます。

この後、発生状況等については健康福祉部から説明がございします。なお、各部局の対応については2ページ以降で、変更点についてはアンダーラインを付してございしますので、後ほど参照していただければと思ひます。この資料の説明については以上です。

○坂本危機管理局次長

感染症の状況等につきまして、健康福祉部から説明がございします。

○奈須下健康福祉部長

資料2と資料3に基づいて、感染症の状況について御説明いたします。

まず県内の感染者の状況について、資料2で御説明いたします。これまでに判明した感染者は5,308名、現在入院中の感染者は110名、宿泊療養施設利用者が81名、自宅療養者が202名となっております。なお、本日公表いたします新規の感染者は36名となっております。

次のページを御覧ください。療養の状況ですが、入院患者のうち重症者は現在9名、中等症者が15名となっております。検査の状況等については以下のとおりです。

次に、資料3に基づいて感染の状況について御説明いたします。まず判明日別の陽性者数の推移ですが、9月に入って減少傾向となっております。感染経路不明の新規系統数も、新規の感染者数と同様に、9月に入って減少の局面に入っております。

居住地保健所別のこれまでの累計の発生状況については、図のとおりとなっております。

次に、圏域別の陽性者数の推移です。津軽圏域を除いて、前週比減少となっております。県全体で見ますと、前週の10万人当たり34.2人のステージⅣから、9月15日現在で24.4人のステージⅢへと減少しております。

感染症の市町村別の発生状況です。クラスター等が多く発生しております八戸市が201人以上ということで、感染者数が多い状況となっております。

次のページを御覧ください。年代別の感染者の割合のグラフになります。9月に入りまして、40代・50代の割合が若干高くなっております。

療養者数の推移ですが、8月末から9月の初めをピークに、療養者数全体として減少しております。

圏域別の病床使用率です。県全体で見ますと、前々週の47.0パーセントから、前週は38.0パーセント、今週は30.8パーセントと、病床使用率も減少傾向にあります。なお、圏域別で見ますと、もともと病床数の少ない西北五圏域で58.8パーセント、それから先月来、感染者が急増しました八戸地域では、まだ38.5パーセントというふうになっております。

ワクチンの接種状況についてです。高齢者の接種につきましては、希望者に対する接種はほぼ終了しておりますが、一般接種につきましても接種率は順調に上がっております。

ワクチンの効果ですが、65歳以上の高齢者の感染者の割合は9月に入って若干増えております。9月に入って高齢者施設のクラスターが発生したということもありまして、65歳以上の高齢者の割合が若干増えております。ただ、このクラスターの発生した施設におきましては、職員・入所者とも5月までにほぼワクチン接種済みでありまして、重症者はいないというようなことになっております。感染された方でも、軽症もしくは無症状ということになっております。こういったことから、感染者の高齢者の割合とともに、その重症者の割合ということから見ましても、一定のワクチンの効果が見られております。ただし、この施設でもそうですが、ワクチンを2回接種した場合でも感染した事例が県内で99例確認されております。したがって、ワクチン接種を完了しても基本的な感染防止対策を継続することが大変重要であるというふうに考えます。

医療提供体制についてです。9月17日現在の確保病床数は、県全体で328床となっております。8月に比べ20床増加しております。宿泊療養施設につきましては、9月末までに八戸市において150室確保する見込みが立っております。8月末時点で320室から、さらに9月末までにはプラス150室で、470室となる見込みとなっております。

次に、重症化予防対策として、中和抗体薬使用の仕組みを県で構築しております。中和抗体薬を使用する医療機関につきましては、厚生労働省を通じて必要な中和抗体薬が配分されることになっております。それからワクチン接種についてですが、県によるワクチンの広域接種を9月25日から開始いたします。これに先立ちまして、明日9月18日から予約を受け付けることとしております。健康福祉部からは以上です。

○坂本危機管理局次長

ここまでの説明につきまして、質問等ございますでしょうか。よろしいですね。それでは、本部長から指示事項とメッセージをお願いいたします。

○三村本部長

まず、指示事項であります。

現在、感染拡大の抑え込みのために、各部にも御協力いただきながら、緊急対策パッケージを実施しているところです。

実施から半月が経過し、新規感染症患者はピーク時より減ってきています。しかしながら、依然として職場や学校などでクラスターが頻発するなど、予断を許さない状況にあると考えています。

そのため、各部にあっては、緊急対策パッケージの取組をしっかりと継続するとともに、職員各位にあっても、引き続き、健康管理や感染防止対策を徹底するようにしてください。

また、本日開会いたしました県議会第307回定例会に、令和3年度9月補正予算案として、新型コロナウイルス感染症対策に関する予算についても提案したところです。

県議会においては、事業目的、効果等について、議員の皆様方や県民の皆様方にしっかりとお伝えできるよう丁寧に説明を尽くし、御理解をいただくようお願いいたします。

加えて、各部にあっては、この最大の危機を乗り越えるために、今後とも、県内外の感染状況等を十分踏まえながら、感染拡大を抑え込み、そして、安全・安心な暮らしと活力ある本県経済を早期に取り戻すために、所管分野においてできることを考え、しっかりと取り組むよう指示します。

続いて、県民の皆様方に、お願いとお話をさせていただきます。

「この秋 最大のコロナ危機 終わらせよう。」ということで、お願いをしているわけですが、青森県内におきましては、8月以降、帰省等で県外から移動してきた方との接触などにより、感染が急速に拡大している状況にありました。感染が御家族、そして、職場や学校、保育施設などへ広がり、さらにその御家族へと連鎖したものもありました。また、高齢者施設などでワクチン接種済みの方々が感染したという事例も出てきております。

緊急対策パッケージの実施から半月が経過し、新規感染症患者はピーク時より減ってきております。しかしながら、依然として職場や学校などでクラスターが頻発しており、また、重症者が徐々に増えるなど、予断を許さない状況にあると考えております。

さらに、週末からは、秋の連休やお彼岸の時期を迎え、再び、人の流れの増加が予想される所です。

何としても9月でコロナ危機を終わらせるために、帰省、旅行などの人の流れを抑制し、人同士の接触の機会を減らすことが必要になってきます。また、マスク等をしながら、感染対策に気を付けていただければと思います。

そして、青森県でも高齢者施設等でのいわゆるブレイクスルー感染の事例も出てきましたが、ワクチン接種した方も含めまして、この連休も「普段一緒にいない方」との接触を避けるなど、あらゆる場面で感染リスクを回避することに、何とぞ御協力いただきたいと思っております。みんなが集える場所であるというのが青森県の良さなのですが、これを我慢してほしいとお話するのは恐縮なのですが、何とぞ、これまで以上に感染リスクを回避する慎重な行動と、マスクの着用、ソーシャルディスタンス、換気など基本的な感染防止対策の徹底に御協力いただければと思っております。

また、政府は9月末まで緊急事態措置等を延長しました。引き続き、県外との不要不急の往来を控えてください。また、小池都知事も「東京から出ないで」とおっしゃっておりますけれども、青森県以外にお住まいの方々も、大変恐縮ですが、本県へのお彼岸などの旅行や移動を控えていただくようお願いいたします。

県民の皆様方には、御不便をおかけしておりますが、緊急対策パッケージの効果は着実に表れています。これまでの御協力に心から感謝いたしますとともに、引き続き、共に力を合わせていきたいと思っておりますので、御理解と御協力をお願い申し上げます。

なお、県では、9月に入り、新型コロナウイルス感染症の入院病床を20床追加し、現時点で合計328床を確保したところです。また、宿泊療養施設については、今月中に八戸市で新たに150室を追加することとしており、県内で合計470室となります。今後とも、必要な予算措置をいたしまして、医療提供体制の整備に努めてまいります。

また、市町村において地域の方々へのワクチン接種を進めておりますが、ワクチン接種の加速化を図るため、県による優先接種枠の設定を含めたワクチンの広域接種を、青森市、弘前市及び八戸市で9月25日から実施することとしており、明日9月18日から予約受付を開始します。詳しくは、県庁ホームページ等で御確認いただきまして、広域接種を御希望の方は御活用いただければと思っております。

県民の皆様方に一致協力いただきまして、この正念場を乗り越え、今後とも安心して働き、学び、暮らすことができる青森県にしていくために、引き続き、全力で取り組んでまいります。重ね重ねのお願いですが、県民の皆様方のお力添えを心からお願い申し上げます。

○坂本危機管理局次長

以上をもちまして、本日の会議を終了といたします。ありがとうございました。